



**KALS 大学院入試対策講座 受講生の皆様**

**100%合格に向けて！チューターからメッセージ**

**2011 チュートリアル通信**

**【心理系大学院受験対策⑱】**

## よくある質問 Q&A

横浜校チューター：金子 友香

今回は、大学院入試のことや、入学後の生活など皆さんからよくされる質問に回答していきたいと思ひます！

### Q 大学院進学後の生活ってどんな感じなのでしょう？

進学後どういふ生活が待っているかは大学院によって異なります。更にいへば、研究室によつても異なります。しかし、基本的には自分がどう過ごすかで変わるのて、主体的に動き、2年間を有意義に過ごして下さい。何もしなければ、何もしないまま終わってしまいますよ。

#### ● 授業について

修士1年のうちに大半の単位を取り、修士2年目は、実習+修士論文の作成が主な授業に行なっていくというパターンが主流だと思ひます。

授業は基本、演習形式です。テーマを発表し、それについて全員で討論していく授業になります。講義形式ではないので、能動的に授業に関わっていくことになります。単位だけで言へば、1日1~4コマ程度なので、1年目で無理なくほとんどの単位が取れるかと思ひます。しかし、1つ1つが非常に濃厚です。様々な文献を探したり、読んだり、授業準備にも時間がかかります。またディスカッションを重ねながら、己と向かい合う作業との連続なので、体力的にも精神的にも疲れることが多かったです。

#### ● 実習について

実習は大学院によって異なります。実習を始める時期、場所・やること、頻度、期間、スーパービジョン、ケースカンファレンスの体制は千差万別です。基本的には外部の機関と大学院に付属の相談所の両方で実習を行なうことが多いかと思ひます。自分の行きたい大学院の実習の様相は、研究室訪問や大学院説明会などを利用して、あらかじめ調べておくといふです。

#### ● アルバイトやボランティア

実習のほかにも、心理関係のアルバイトやボランティアの話がよく入ってきます。先輩から代々、引き継ぐことも多いです。クリニックなどでの受付・検査や、学校現場、メンタルフレンド、療育のスタッフなど様々です。経験をつみ、人脈を広げるチャンスです。アルバイト先でそのまま就職が決まったといふ話も聞きます。興味があるものは、取り組んでみるといふです。

#### ● 研修やワークショップなど ~自主的な学びの機会を~

授業を受けていへば、知識と技術が全て身につくわけではないですよね。様々な学会やワークショップに参加して、自主的な勉強をしていくことが求められます。院生同士で勉強会なども定期的に行なっていました。

## ● 修士論文について

修士論文の作成は、1年目から作成に向けてとりかかる大学院もありますが、2年目に本格的に取り組む大学院もあります。また教授の考え方によっても指導の形式は左右されます。ちなみ研究計画書通りに修士論文を作成する人はほとんどいません。もう1度、大学院に入ってから、研究テーマを見つけ、研究の方法を練っていくこととなります。研究法・統計法の知識があることが前提となります。今のうちに受験勉強も兼ねて勉強しておきましょう。

### Q 働きながら、大学院に通いたいのですが、両立出来ますか？

#### ● 夜間や通信などの制度がある大学院がありますが・・・

夜間や通信の講座を開いている大学院があります。そうしたシステムを上手に利用することで、カリキュラムをこなす事が出来るかも知れません。

ただし、ここで「実習」について考えて欲しいと思います。臨床心理士指定大学院における実習はどの大学院でも必修の課目です。授業は夜間に出来たとしても、実習は夜間に出来ない可能性があります。実習は実習先の診療時間や受付時間、開室時間などの都合上、日中行なうことがほとんどだと思います。その為、週のうち1日だけは実習のために仕事の都合をつけなければならないかも知れません。中には土曜日・日曜日に実習が可能な場所もあるかと思いますが、それは大学院がどのような実習形態と実習先を持っているかによって異なるので、事前にその点を確認する必要がありますでしょう。

#### ● 修士2年目の就職活動のときに武器になるものは？

心理職の募集は、学生ばかりでなく、現場経験のある臨床心理士がキャリアアップの為に応募することも多いです。心理職の経験があり、尚且つ臨床心理士の資格を持っている人達の中で、どう自分をアピールするかを考えたときに生きてくるのが、実習やボランティア、心理系のアルバイトの経験です。また実習先やアルバイト先にそのまま就職出来る場合があります。実習を沢山すれば良いというわけではないですが、実習やアルバイト、ボランティアに時間を割けるということは、就職にも繋がっていきます。

### Q 就職の実際のところは？大学院による違いは？

#### ● どんなところに、どうやって就職していくのか？

大学院卒業後の就職先は様々です。医療、教育、福祉、産業など様々な分野に渡ります。修士2年目の1月くらいから就職活動を始める人が多く、また例年この時期に公募が一気に出てきます。募集期間が短いものが多いので、こまめにチェックする必要があります。心理職募集系の掲示板があるので、興味がある人はインターネットで見ると良いですよ。どんな仕事があるのかが分かります。

公募のほかにも、教授からの仕事の紹介や先輩からの紹介などがあります。所謂、コネです。コネで仕事が決まることも多い業界なので、自分が興味のあることをアピールしておく方が良いです。ちなみにクリニックなどは公募もありますが、病院の心理職は公募で就職していくことが難しいです。教育・福祉の分野は公募が多いですよ。

#### ● 就職は厳しいの？

卒業後1年目で常勤の仕事というのは、なかなか厳しいかも知れません。非常勤で複数掛け持ちという人が多いかと思いますが。公募で出る募集人数は、だいたい「若干名」と書かれていることが多いです。首都圏では、若干名に数十人の人が応募することになるので、倍率はかなりのものです。特に東京23区などは募集条件も良いので、受験者が殺到します。新卒のときは、無資格であり、現場での経験も少ないことから、厳しい面があります。倍率は高いですが、選考自体は、書類選考(履歴書・作文)＋面接1回(1

0-30分程度) という形態が多いので、一般企業への就職に比べると、アッサリとしているかもしれません。

経験を積めば積むほど、次の就職に繋がりがやすくなるので、年々、仕事が見つかりやすくなります。また週1回でも日当で5万円代という仕事もあります。様々な領域で仕事を掛け持ちしながら働くことで、フルタイムの仕事でなくても、かなりの収入が得られる可能性はあります。もちろん常勤の仕事に就ける可能性も年々、増えていきます。

### ● 大学院による違いは？

実習先にも言えることですが、それぞれの大学院によって就職先として紹介できる場もその量も異なります。その辺りは、事前に確認してみると良いですよ。研究会などで卒業生との交流が多い大学院は、それだけ上の代から仕事の紹介が多いと思います。

## Q 社会人入試の方が受けやすいのですか？

### ● 社会人入試のメリット

社会人入試という枠を設けている大学院があります。大学院によっては英語が免除されるなど、試験の形態が一般入試と異なることがあります。「英語が苦手な足引っ張っている」、「時間がないので専門科目に集中してやりたい」という方は、社会人入試を選ぶことにメリットがあります。

### ● 社会人入試の注意点

大学院によって社会人入試の形態が異なります。英語が免除になったり、英語の代わりに小論文が課せられたり、英語の問題が平易になるなど様々です。まずは自分が受けたい大学院の試験の形態を見てみましょう。また社会人入試が受けられる条件も異なるので、注意して下さい。

英語が免除される分、面接試験が厳しいものになると聞きます。志望動機や自分の臨床への思い、研究計画書などの準備を入念にして(一般入試でもそうですが)、臨む必要があります。また、近年の臨床心理士へのニーズに伴い、大学院入試に臨む社会人の方も多いです。そうすると、社会人入試の枠で受験をされる方も当然、多くなります。科目が少ない分、専門科目や面接試験で差をつけなければなりません。一般入試にしる、社会人入試にしる、楽な戦いではないと言えるでしょう。

## Q 他学部からの進学です。入学後、勉強についていけますか？

### ● 基礎から応用分野までの一通りの知識が必要です

個人的には、大学院入試を突破できたのであれば、特に問題ないと思っています。大学院では、より実戦に向けた勉強をしますが、それは学部の時に講義形式で得た知識とはまた、質が違っていったように思います。大学院入試を突破できるだけの知識があれば、知識の面において、心理学部出身者との差はないように思いました。ただ大学院では、臨床心理学だけでなく、基礎領域などの単位もとっていく必要があります。受験の際に、大学院の入試形態に合わせて、臨床心理学しか勉強しなかった方は、苦労されるかと思います。また統計や研究法についても、論文を理解できる程度には身につけておく必要があります。

大学院入試は、疑問や不安が多いかと思います。

気軽に聞きに来て下さいね♪